

# 公益財団法人 名古屋国際センター

名称	公益財団法人 名古屋国際センター	
英文名	Nagoya International Center	
代表者	理事長 矢野 秀則	
所在地・連絡先	〒450-0001 名古屋市中村区那古野一丁目47番1号 TEL:052-581-5678 FAX:052-581-5629 URL: http://www.nic-nagoya.or.jp/ E-mail: nic@nic-nagoya.or.jp	
設立年月／地域国際化協会認定年月	昭和59年8月設立／平成2年1月認定	
基本財産／年間予算額	345,200千円／510,759千円	
会員制度	個人会員:67人(年会費10,000円)、 学生会員:6名(年会費3,000円)、 法人会員:74団体(年会費50,000円)	
役員数／職員数	10名(うち常勤2名。また1名は事務局長兼任)／45名(市派遣1人、正規15人、嘱託8人、時給職員19人、その他2人)	
国際交流施設の概要	名古屋国際センター	名古屋市所有、面積4,131.14㎡、昭和59年8月設置
	国際留学生会館	公益財団法人名古屋国際センター所有、面積3,824㎡、平成2年4月設置
民間国際交流団体とのネットワーク		
定期刊行物	「ニック・ニュース」10,000部発行(日本語)隔月刊 子ども版ニック・ニュース(年2回) 「NAGOYA CALENDAR」5,500部(英語版)月刊 「Calendario de nagoya」4,500部(ポルトガル語版)月刊	
主な出版物		
平成27年度 主要事業	情報サービスコーナーの運営	各種生活情報や観光情報などを日本語のほか、英語・ポルトガル語・スペイン語・中国語・ハンガール・フィリピン語・ベトナム語で提供。 予算額: 30,099千円
	ライブラリーの運営	海外紹介図書、外国語の小説、辞典・辞書、国際理解・多文化共生に関する図書、日本語教材、地図、海外の新聞・雑誌等の収集・配架及び閲覧・貸し出しを行う。 予算額: 17,670千円
	海外児童生徒教育相談	家族の海外勤務による出国・帰国に際して編入学等に関する相談や、外国籍児童・生徒の教育に係る相談を、水曜日・金曜日・日曜日に実施。 予算額: 4,694千円
	外国人行政相談	市政や行政に関する相談や情報提供を行政書士を含む専門家が英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、ハンガール、フィリピン語の通訳を介して実施。火曜日から土曜日。 予算額: 5,101千円
	外国人法律相談	弁護士による法律相談を週1回(土曜日)英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語で実施。予約制。 予算額: 3,933千円
	外国人税務相談	名古屋税理士会との共催により、確定申告書の書き方等、税金についての相談会を英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語等により実施する。確定申告の時期に開催。 予算額: 60千円
	外国人こころの相談	日本での生活で生じる外国人の不安や悩み等を解消するための相談を英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語で通訳を介さず実施する。予約制。 予算額: 2,684千円

# 公益財団法人 名古屋国際センター

ピア・サポートサロン	外国人が孤独や孤立感を感じながら精神的に不安定になることを未然に防ぐため、仲間づくり、居場所、悩みを共有する場としてのサロンを年数回開催。 予算額: 45千円
外国人健康相談	(特活)外国人医療センターとの共催により、外国人が健康について気軽に相談できる相談会を年2回程度実施。英語、ポルトガル語、スペイン語等で応じる。 予算額: 30千円
外国人の子どもと保護者のための総合相談会	外国人の子どもの健全育成を目的に、教育、福祉及び健康の各分野の相談に専門家及び行政機関の職員等が対応する総合的な相談会を英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピン語で実施する。 予算額: 152千円
外国人生徒と保護者のための進路ガイダンス	中学卒業後の進路についての情報提供と相談に対応するガイダンスを、教育委員会、学校等の関係団体の協力のもとに実施する。英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピン語で実施。 予算額: 360千円
外国人生活出張サービス	外国人住民が生活の中で困ったときに、居住する地域など、より身近な場所で様々な公共サービスにアクセスできる環境づくりに向け、地域で行われる保健、福祉、教育などの相談活動等に通訳ボランティアや相談員を派遣する。 予算額: 250千円
日本語ボランティアシンポジウム	東海日本語ネットワーク(TNN)との共催により、東海地域において日本語支援活動に携わるボランティアの連携と情報交換を図るシンポジウムを開催する。 予算額: 127千円
地域の国際化セミナー	日本人と外国人が共に地域住民として豊かな生活文化を創造できる「多文化共生社会」の形成促進を目的に、具体的な方策を探るセミナーを開催する。 予算額: 361千円
NIC地球市民教室	学校や地域からの依頼に基づき、登録された外国人講師を紹介し、講演または交流事業を実施することにより地域の国際理解を促進する。 予算額: 3,434千円
ファシリテーター入門講座	多文化共生に関心を有する市民を対象に、ワークショップのファシリテーションを学ぶための講座を実施する。 予算額: 60千円
ボランティア制度の運営等	国際協力、日本語指導、情報カウンター窓口対応、図書の整理、サッカー教室のコーチ、ホームステイ、語学ボランティア、災害語学ボランティア等の募集、登録及び研修等を実施する。 予算額: 7,093千円
国際交流協力協働事業	国際交流・国際協力団体等との協働により、その時々状況に応じた市民の国際理解促進のための事業を実施する。 予算額: 136千円
多文化共生まちづくり事業	外国人と日本人が共に多文化共生まちづくりを考え、地域における顔の見える関係を作る機会として、交流や外国人向けの生活情報の提供などを内容とするイベントを、地域の関係機関・団体の協力を得て、団地広場や小学校などを会場に3地域で開催する。 予算額: 350千円
外国人防災啓発事業	外国人住民に対し、防災や災害についての基本的な知識を提供する講習会を実施する他、「なごや災害ボランティア連絡会」との連携や災害語学ボランティアの協力を得て、地域単位の防災啓発イベントに参加する。 予算額: 252千円
NIC日本語の会	基本的な日本語の習得と生活情報の提供を目的とした3ヶ月単位全10回程度(日曜日開催)の講座をボランティアの運営協力のもと、教室形式で実施する。また、運営に携わるボランティアを対象に年2回程度研修を行う。 予算額: 843千円

# 公益財団法人 名古屋国際センター

子ども日本語教室	学校や生活に必要な日本語学習の機会を提供するため、ボランティアの運営協力のもと、小グループ指導形式による日本語教室を名古屋国際センターなどで開催する。また、教科学習に必要な学習言語の指導も行う。 予算額: 580千円
外国籍児童・生徒サポーター養成研修	専門分野の講師による講義、パネルディスカッション、ワークショップなどを通し、幅広い視点で外国籍の子どもを支援するための知識や心構えを学ぶ、全3回程度の連続講座を実施する。また、これから支援に携わろうと考えている人を対象に、全3回の入門講座を実施する。 予算額: 389千円
留学生による言語・文化紹介講座	県内の大学等に在学する留学生を講師とする言語・文化紹介講座を開催し、留学生と市民との交流・相互理解を図るとともに、市民の異文化や多文化共生への理解を促進する。 予算額: 101千円
やさしい日本語普及啓発事業	在住外国人の母語の多様化を背景に、災害時のコミュニケーション手段の確保や日常的なコミュニケーションの促進などを図るため、「やさしい日本語」の概要を理解するとともに、日常的に使用できるようになるための実践的な講座を行政職員等を対象に2回、地域の役員等を対象に1回、実施する。 予算額: 141千円
ワールド・コラボ・フェスタ	(公財)名古屋国際センター、(公財)愛知県国際交流協会(AIA)、(独)国際協力機構中部国際センター(JICA中部)及びなごや国際交流団体協議会(NIA)の4者で実行委員会を組織し、市民の国際交流・国際協力活動への意識を高めることを目的とした事業を実施する。世界各国の音楽や踊り、地球的な課題をテーマとしたトークなどを展開するステージのほか、この地域を拠点に国際交流・国際協力活動を行う民間団体のブース出展などによりその活動を紹介する。 予算額: 1,552千円
外国人児童支援事業	(1)九番団地サッカー教室 外国籍児童の居場所づくりと日本人児童との交流を目的としたサッカー教室を、地域のボランティア日本語教室及び港区多文化共生推進協議会の協力を得て、毎週土曜日に開催する。また年2回程度交流試合を行う。 (2)外国人の子どもの進学サポート事業「学校訪問」: 外国人の子どもと保護者を対象に、中学校卒業後の高校等への進路の具体的なイメージや情報の提供を図る取り組みとして関係機関の協力を得て、実際に学校を訪問する機会を設ける。 予算額: 1,103千円
国際留学生会館の運営	宿泊事業(居室数:単身室80室・夫婦室10室、家賃月額:単身室20千円・夫婦室25千円、入居年数1年)、情報提供・相談事業、交流事業(外国語講座・地域住民との交流)などを行う。 予算額: 30,976千円